

「有り難し①～卒業式編～」



3月は、心に芽生えた、夢や希望に向かって、その第一歩を踏み出す季節です。このような中、本校では3月1日(土)、ご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、第19回卒業証書授与式を執り行いました。

ご来賓の皆様。皆様のご支援のおかげで、生徒たちはこのように、立派に成長いたしました。今後も温かく見守っていただき、今後ともご指導よろしくようお願い申し上げます。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠にありがとうございます。お子様の健やかな成長を願って支えてこられた皆様にはさぞや苦勞も多かったことでしょう。今日の良



き日を迎え、立派に成長されたお子様の姿に感慨もひとしおのことと存じます。教職員一同、心からお慶びを申し上げます。本日まで本校にお寄せいただいたご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。本校の所定の教育課程を無事終了し、めでたく卒業の日を迎えることができたのは、一人一人が三年間、たゆまぬ努力を積み重ねてきた結果であることは言うまでもありません。その努力に対し、心から拍手を送ります。



皆さんは令和4年4月に、夢と希望に胸を膨らませ、本校の門をくぐりました。以来三年間、「自立・誠実・感謝」の校訓のもと、勉学や行事、部活動に全力で取り組み、仲間たちとの友情を育み、充実した高



校生活を過ごしてきました。(次頁へ)

卒業証書授与



しかし振り返ってみれば、決して平たんな道のりではありませんでした。皆さんが入学したころはまだ、新型コロナウイルス感染症の影響で不自由な学校生活を過ごさざるを得ない状況でした。しかし皆さんは、そのピンチをチャンスにかえ、新しい時代への変革に向け、全力で立ち向かっていきました。

そして二年後の令和6年4月、皆さんは輝く三年生に成長していました。宿泊行事の学年対抗のドッジボール大会。最初は恐る恐る投げている下級生も、次第にヒートアップ。学年の垣根が取り払われ、三年生の姿が下級生のあこがれに変わった瞬間でした。

翌週のスプリングコンサート。ユニークな司会、各部活動の演技、演奏、出し物に魅せられ、皆さんの輝きが最高潮に達したように思われました。しかしそれはあくまで平尾祭に続く序章にすぎませんでした。

5月、黒崎よさこい祭り。一般・大学の出演者に混じって、唯一高校生が出演する本校よさこい・ソーラン部の迫力ある演舞に観客の心が震えました。

運動会の競技、演技、仰星演舞「かみどん」「ソーラン節」も圧巻でした。皆さんの活躍する姿に多くの感動と涙があふれました。

6月、石垣島と沖縄への修学旅行。解散式では皆さんの身体から、沖縄県の熱気をそのまま持って帰ってきたような熱量を感じました。そして何よりも集団で生活したことから生まれる、一回りも二回りも成長した姿に出逢えました。【次号に続く】



特別表彰「完全皆勤賞」



特別表彰
「日本私立中学高等学校連合会」



特別表彰「皆勤賞」



特別表彰「精勤賞」・代表



記念品贈呈



卒業生代表
「答辞」



在校生代表「送辞」



保護者代表謝辞

